技術・家庭科（技術分野）

技術・家庭科（技術分野）の目指す生徒像

- 日常生活において状況を正しく認識し、よりよい生活を築くための手段を考え、選択することができる生徒
- 周囲の環境に配慮しながら自ら生活を工夫していくことができる生徒

授業評価における課題

- 発言や質問をしやすい授業を工夫する。
- 学習進度や作業進度の違う生徒に対応した授業を展開する。
- 作業が遅れている生徒への対応として、放課後等に作業時間を確保する。

言語活動における課題

○ 作業の手順や方法を教え合うことや、自分の考えを他者に伝える活動をより充実させることが必要である。

≪本校で検討した言語活動例≫

他者とかかわる力を高める活動や情報の特性を生かして考えを伝え合う活動

改善策 ①

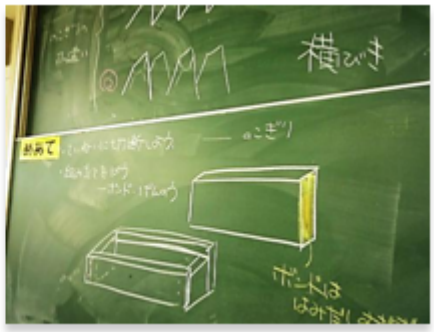
発言や質問しやすい雰囲気となるように、生徒相互の学び合いや教え合い学習を奨励する。

改善策 ②

机間指導による個別指導及び、発言や質問に対応した授業を展開する。

改善策 ③

生徒一人一人が課題を意識して授業に臨み、同時にその日の学習内容を振り返ることができるような板書や自己評価表の工夫を行う。



～ 研 究 の 成 果 ～

- 毎時間の授業の中で「めあて」を明確に提示することで、生徒自らがその時間の課題を意識して授業に臨むことができるようになった。
- 生徒相互で学び合い、教え合うことで、作業の確認や互いの作品のよさを認め合うことができるようになった。